

令和7年度第2回草加市公民館運営審議会会議録（概要版）

1 開催日時

令和7年8月22日（金）午後2時から午後3時40分まで

2 開催場所

草加市立中央公民館 3階 第1・2講座室

3 出席者の氏名

- (1) 委員瀬尾 寛委員（議長） 関根光二委員（議長職務代理）、
豊田節子委員 吉岡裕子委員 小林榮子委員 中井義人委員
安部雄二委員 会田大輔委員 蓮沼孝侑委員 原口聖生委員
柳田悦子委員 梶原祐子委員 桑原千明委員
- (2) 公民館 藤倉館長（中央公民館） 斎藤館長（柿木公民館）
米山館長（谷塚文化センター） 籠宮館長（川柳文化センター）
中村館長（新田西文化センター） 山崎館長（新里文化センター）
- (3) 事務局 隅田主席主幹、櫻岡（会計年度任用職員）

4 会議の次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 会議録の署名委員について
- (4) 審議
 - ア 公民館事業について
 - イ 中央公民館のネーミングライツ（愛称）について
 - ウ 豊春地区センター（埼玉県春日部市）行政視察の報告について
 - オ その他
- (5) 閉会

【配布資料】

- 資料① 各館の夏休み特集号等
- 資料② 教育委員会所管施設におけるネーミングライツについて
実施方針及び選定基準
- 資料③ 春日部市市民センター
(公民館+地区センター（新たな機能）=市民センター) 視察写真
- その他 令和7年度第1回草加市公民館運営審議会会議録

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 審議内容の説明

- (1) 公民館事業中の「こどもたちの夏休み期間中の事業（資料①）」を各館長より順次説明。
- (2) 中央公民館のネーミングライツ（愛称）について、藤倉館長より説明。
- (3) 豊春地区センター（埼玉県春日部市）行政視察の報告について、藤倉館長より説明。

8 審議の結果

- (1) 公民館事業中の「こどもたちの夏休み期間中の事業」の内容について、承認いただいた。
- (2) 中央公民館のネーミングライツ（愛称）実施計画について、承認いただいた。
- (3) 公民館事業の分類について、令和8年度から「総合事業」を「公民館運営事業」に変更することを承認いただいた。

9 主な意見

(1) 公民館事業について

- ・夏休みの子供の講座について、地域の人が盛り上げてくれたり、子供の持っている想像力というものを育むために、自由にいろんなものを使いながら何か作れるというのはとても最高だと思った。
- ・行事がいっぱいあることに、子供たちはすごく喜んでいると思う。
各公民館のその地域の子供たちが、自分で体験することによって公民館に行けば何かできる、何とかなるということをすごく体験できて良かった。
- ・盛況な講座等に、定員オーバーで漏れた子供が参加できるような方法はないか。

(2) 中央公民館のネーミングライツ（愛称）について

- ・記念体育館の愛称が「エネクルスポーツアリーナSOKA」に変わっているが、若い人からも愛着が湧きやすい名前になっているのかなというふうに思う。中央公民館や図書館等、いろんな施設で愛称が付くというものは

非常に良い取り組みかなと思った。

- ・草加市の財政が少しでも豊かになればいいかなというところで、他市ではすでに先に始まっており、やっと草加市でも始まったなという感じである。一方で、ネーミングライツで名前が変わることによって、館内掲示の変更等の利用者への周知や変更日を基準とした書類等の作成に苦労した。

(3) 豊春地区センター（埼玉県春日部市）行政視察の報告について

- ・視察を参考にして、この夏休みの期間、公共施設を学習スペースとして、市役所本庁舎をはじめ公共施設 26箇所と獨協大学図書館、文教大学東京あだち図書館の協力をいただき子供たちに開放したことは、すごく良いアイディアだと思った。
- ・見守り等の人員配置については、シルバー人材センターのみに頼るのではなく、子どもたちが公共施設の中で遊んでいる時、社会性を学ぶとともに考えると、アドバイスのできる資格を持った人が必要ではないかと思った。学生さんに無償というのは無理ですが、予算をちゃんとかけてそういう人たちにも来ていただいて、こういうことができていけることが一番よいと思う。
- ・春日部の市民センターの機能を持たせると大変ではないか。夏なら夏だけ、冬なら冬だけという期間限定にしたらどうか。

10 審議の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。